

静岡市健康爛漫計画(第2次)中間評価・中間見直し【素案】に対するパブリックコメントの実施結果

1 募集期間

平成29年11月20日(月)から平成29年12月19日(火)まで

2 公表方法及び閲覧場所

- (1)健康づくり推進課、3区の市政情報コーナーでの閲覧及び配付
- (2)市内各図書館、各保健福祉センターでの閲覧及び配付
- (3)市広報紙11月号掲載
- (4)市ホームページ掲載

3 募集結果

(1)提出者数 68人

(2)提出者住所及び年齢内訳

住所	葵区	駿河区	清水区	市外	不明	合計
	21人 (30.9%)	29人 (42.6%)	10人 (14.7%)	7人 (10.3%)	1人 (1.5%)	68人 (100%)

年齢	19歳以下	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明	合計
	4人 (5.9%)	9人 (13.2%)	11人 (16.2%)	10人 (14.7%)	12人 (17.6%)	7人 (10.3%)	14人 (20.6%)	1人 (1.5%)	68人 (100%)

(3)意見数 71件

(4)意見区分

1	静岡市の健康課題 健康課題	1件
2	分野別評価(中間評価)と具体的な取組	62件
	1. 栄養・食生活	13件
	2. 健康診査・生活習慣病	6件
	3. 歯と口	4件
	4. 身体活動・運動	11件
	5. タバコ	12件
	6. 酒・薬物	2件
	7. こころの健康・休養	8件
	8. 性・妊娠・子育て	6件
3	その他	8件
合計		71件

(5)対応区分

区分	件数
計画に反映する	7
計画に登載済	24
今後の取組の参考とする	33
その他・感想等	5
合計	69 (重複あり)

静岡市健康爛漫計画(第2次)中間評価・中間見直し【素案】に対するパブリックコメントのご意見及び静岡市の考え方

【対応区分】A:計画に反映する B:計画に登載済 C:今後の取組の参考とする D:その他・感想等

No.	項目		意見の要旨	意見数	対応区分	回答(市の考え方)
1	静岡市の健康課題	健康課題 (P4)	・各分野の順で掲載されていることが分かるように、分野の名称を記載等してもらおうと見やすくなると思う。	1	A	各分野の項目を記載するように修正します。
2	分野別評価(中間評価)と具体的な取組	栄養・食生活 (P6~) 【食育】	・朝食欠食、女性のやせ、食事バランスについて、食育は早い時期から教育として繰り返し植え付けていく必要があるため、小・中学校の教育現場できちんとやってほしい。 ・若い世代には、栄養・食生活について考える余裕はない。職場環境の改善が必要だと思うが、先ず小中学校で考える習慣をつけるべきだ。	2	B・C	学校では「食に関する指導」の中で全学年の児童・生徒に対し食育を実施していますが、今後、更に充実していくよう検討します。
3		栄養・食生活 (P6~) 【食育】	・自分に合った食事量、運動をしているのでそれに合った食事内容について、具体的に学校でも教えてもらいたい。そのことがこの計画のどこを見れば分かるのか。	1	B	現在「食育普及啓発事業」の中で「食育応援団」の活用促進をしており、具体的な話をしてくれるところがあります。学校の教育現場と連携し実施しています。また、各課開催の教室等がありますので、「行政の取組」のページをご覧ください。
4		栄養・食生活 (P6~) 【朝食欠食】	・思春期の朝食欠食が多いようで、静岡市の将来を担う若者の健康が心配だ。是非良い対策を検討して欲しい。 ・小学生でも朝ごはんを食べない子がいると聞いた。行政のみならず、各業界一体となって取組んでほしい。 ・学校や職場で、朝食を用意するしくみを市と大学、企業が協力して作ることはできないか。	3	C	行政のみで行うのではなく、これまで以上に官民協力しあい、食生活改善への環境整備を進めていきたいと思えます。
5		栄養・食生活 (P6~) 【食に関する情報提供】	・栄養バランスを考えた食事をとることを普段考えていないので、栄養成分表示など注意するようにする働きかけはよい事業だと思う。	1	C	市民の皆様に分かりやすく実践しやすい働きかけを行っていききたいと思えます。
6		栄養・食生活 (P6~) 【食に関する情報提供】	・静岡の特産品、生産地をめぐるツアーや工場見学など、親子で行けるような催しをたくさん開催してほしい。周知の仕方も多方面から誰でも目につくような形でしてほしい。	1	C	イベントや周知方法については、今後の計画推進の参考とさせていただきます。
7		栄養・食生活 (P6~) 【女性のやせ】	・最近出産したが、女性のやせは妊娠にも影響することを聞いた。大変恐ろしいと思うので、なんとか減らしていくことが重要だと思った。 ・女性のやせは具体的に何が問題なのか。太っているより痩せている方が見た目にもいいと思い、食事の量も食べ過ぎないように気を付けているが、将来的にこういうことが問題になるから、今こうした方がいい、という正しい情報を学生のうちから教えてもらいたい。	2	B・C	中学生と赤ちゃんの交流会のための事前学習時にも思春期の頃からの健康づくりのためにやせすぎはよくないことを伝えています。学校では、保健体育や家庭科の授業で心身の健康を保持増進するための望ましい食生活についてや成長期に必要な栄養量について教えています。今後も、学校やあらゆる機会でも若い世代からの食育の必要性として伝えていきたいと思えます。

【対応区分】A:計画に反映する B:計画に登載済 C:今後の取組の参考とする D:その他・感想等

No.	項目		意見の要旨	意見数	対応区分	回答(市の考え方)
8	分野別評価(中間評価)と具体的な取組	栄養・食生活	(P6～) 【食品ロス】 【栄養士、保健師の役割】 ・栄養士や保健師には、子どもが小さい頃、保健センターで離乳食の相談に乗ってもらったり、子どもの食事の不安にもこたえていただき、助けられた。子どもの食には、小学生になった今でも、味の濃いものは好むが、野菜やふりかけのかかかっていない白米はあまり食べない。出さないとダメだと思うので、出しているが、食べ残しが多い毎日で、母からは「もったいない、食品ロスが最近問題になっているのに」と言われる。 ある子育ての集まりで相談し、幼少期から薄味に慣れさせないからだと言われ、ショックを受けた。あきらめかけていたら、子どもが授業で食品ロスの説明を聞いたと話し、困ってる人がいるし、体のために頑張って野菜を食べると言い出した。 私が言いたいのは、栄養士や保健師は、食育を狭く考えていないか？命をいただき、自然の恵みをいただき、誰かの犠牲もあって食がなり立つこと。食品ロスは、ゴミべらしだけではなく、栄養士や保健師こそが本当に意識して取り組む内容ではないか。子どもの教育の観点から、或いは子育てする親、〇歳児検診という場で、伝えていかないと、私のように出すことばかりに気を取られてしまうのかと思った。 食品ロスを環境問題に狭く捉えず、子育てするプロセスに位置付けてほしい。子育てする全部署の取組目標に入らなければ、環境問題は人ごとになってしまう。子どもは正直なので悪いと思えば、嫌いな野菜を食べるきっかけにもなる。学校給食も食べ残しが酷いと言われているが、食品ロスを目標に挙げていないが、なぜか。北沼上小では、生ゴミを肥料にしてトマトを作るなど、食品ロスを考える実践をしているが、給食の取組みは食品ロス問題を通じて食育の進歩になるのではないかと思う。	1	B・C	各小中学校では、「食に関する指導」の中で、担任や、教科担当と栄養士・栄養教諭が連携し、好き嫌いについてや、感謝の気持ちをもって残さず食べることなど指導をしています。今後も引き続き食品ロスへの意識づけの指導を行っていききたいと思います。 学童期以前の子どもについては、子育て中の親に対して、食品ロスの意識づけをしていけるよう検討していききたいと思います。
9		栄養・食生活	(P6～) 【地域・団体・職場等の取組】 ・市販の食塩濃度を10年程かけて徐々に減らしていってもらおう。徐々に減っていくと市民は塩分の変化に気づきにくく自然と薄味に慣れ、生活習慣病予防に役立つ。 (海外で食パンの塩分濃度を徐々に減らしたことで生活習慣病が減少したというニュースがあった)	1	C	ご意見ありがとうございます。 今後の参考とさせていただきます。
10		栄養・食生活	(P6～) ・これは家庭の問題であると思う。	1	D	ご意見ありがとうございます。
11		健康診査・生活習慣病	(P8～) 【生活習慣病予防の取組】 ・評価指標の「糖尿病有病者の割合の減少」の悪化、「メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合の減少」の悪化は問題だと思う。該当者に向けた事業は新しい事業もあるが、生活習慣病予防の取組みはあらゆる世代での取組みが必要だと思うので、是非あらゆる世代で生活習慣病予防に繋がる効果的な取組みを進めてほしい。	1	C	生活習慣病予防は、各ライフステージ毎の取組みが大切と考えています。健康爛漫計画に係る関係各課が各事業を評価し、効果的な方法を検討し、進めていきます。

【対応区分】A:計画に反映する B:計画に登載済 C:今後の取組の参考とする D:その他・感想等

No.	項目		意見の要旨	意見数	対応区分	回答(市の考え方)
12	分野別評価(中間評価)と具体的な取組	健康診査・生活習慣病 (P8～) 【市民の取組】	・「健康相談や保健指導、広報等を活用して健康づくりの知識を得ます」とあるが、どういうところで情報が得られるのか、具体的にわかるかと思う。	1	B	健康相談や保健指導は、3区の健康支援課及び9か所の保健福祉センターにて、電話、面接、訪問等により実施しています。健診を受けた後、特定保健指導のご案内がきたら是非話を聞いてみてください。個別に相談に応じていますので、具体的に情報が得られます。健康づくりの情報は、健康支援課、保健福祉センターの他に、市のホームページ、広報誌(不定期)、健康まつり(年1回)、健康教育、出前講座等により健康情報を発信しています。
13		健康診査・生活習慣病 (P8～) 【生活習慣病予防への支援】	・健診・指導などの機会に直接関わる方々だけでなく、市民の健康状態がメタボ、高血圧、糖尿病が多いことを、より多くの市民の方に知っていただき、自ら生活習慣改善に取り組んでもらえるようなしかけができるかと思う。 ・特定健診の受診率向上と保健指導実施を進めていく事業の強化をお願いしたい。	2	B・C	市民の健康状態や健康課題については、健診やレポート分析結果を図表化するなど保健師が実施する生活習慣病予防に関する市政出前講座やPTAの父兄を対象にした健康講座等の健康教育や健康まつり、地域活動等の中で周知し、生活習慣病予防の改善に取り組んでいます。さらに多くの市民の皆様へ周知するため、本計画の周知と合わせてホームページ掲載や市民への説明会、地域での集まりの場等を活用させていただきたいと考えています。また、特定健診の受診率向上と保健指導実施については、毎年事業評価して取り組んでいます。ご意見のとおり強化に努めていきます。
14		健康診査・生活習慣病 (P8～) 【健康診断、検診の受診勧奨】	・検診受診率が低いので、受診機会の拡大を図ることはよいことだと思う。更なる向上キャンペーンを求める。	1	B・C	市としても、受診率向上は課題として認識しており、更なる受診率向上を図るため、休日検診や託児付き検診など受診しやすい環境を整えるとともに、啓発キャンペーンにも力を入れていきます。
15		健康診査・生活習慣病 (P8～) 【健診費用】	・特定健診のように、人間ドックも低価格で受けられるようにしてほしい。	1	D	人間ドックの自己負担額の補助制度はありません。一部の健診機関では、静岡市国保の被保険者の特定健診の利用で人間ドックの負担額の軽減が図れる場合があります。医療機関ごとに詳細は異なりますので、希望される医療機関にご相談ください。
16		歯と口 (P10～) 【歯周病予防】	・歯の衛生は非常に大事で、全身の病気との関係もあると言われていの中で、歯科検診の重要性の周知を図るようお願いしたい。	1	B	現在、静岡市では、各種歯科保健事業(教室)や啓発活動等において、全ての年代で、かかりつけ歯科による定期的な歯科健診受診の推進をするとともに、40歳以上の方を対象とした歯周病検診の実施により、疾病の予防に努めています。ご指摘いただいたとおり、全身の疾患との関連も明らかになっていますので、今後も引き続き定期歯科健診の重要性について啓発していきます。
17	歯と口 (P10～) 【40代以上の定期歯科受診のPR】	・40代で治療していた歯が、虫歯が進行し再度歯科受診が必要になった。定期受診の必要性を感じたので、40代以上の定期受診をPRしていく方がよいと思う。	1	B	現在、静岡市では、40歳以上の方を対象とした歯周病検診を実施しています。平成29年度は、更なる啓発として、満40歳になられる方を対象とした「歯ピカ検診(歯周病検診(無料)+歯のクリーニング)」を実施し、受診のきっかけとなるサービスを開始しました。引き続き、かかりつけ歯科による定期歯科健診受診の推進について、早期からの啓発に取り組んでいきます。	

【対応区分】A:計画に反映する B:計画に登載済 C:今後の取組の参考とする D:その他・感想等

No.	項目		意見の要旨	意見数	対応区分	回答(市の考え方)
18	分野別評価 (中間評価)と具体的な取組	歯と口	(P10～) 【歯つらつ健口講座、歯っぴースマイル体操の回数】 ・でん伝体操はS型デイスサービスでやっていたり、他でもやっているが、歯つらつ健口講座、歯っぴースマイル体操も同じようにもっと回数を増やしてやってほしい。	1	C	歯っぴー☆スマイル体操は、しぞ～かでん伝体操同様市内のS型デイスサービスや自主グループなどでの取組みを推進するとともに、オープンスペース等でも実施していますが、今後も実施拡大に向け、更なる普及を図っていきます。また、歯つらつ健口講座については、高齢者グループ等を対象とした申込み制の教室として開催していますので、各所で実施がしやすいよう周知方法等検討し、積極的に働きかけていきたいと思います。
19		歯と口	(P10～) 【思春期の歯肉炎】 ・歯肉炎のある思春期の子供が多いことに驚いた。学校と協力して学校でも歯みがきをするようにしたらどうか。	1	C	中間評価の状況を学校に情報提供したところです。今後、学校と連携し対策を検討していきます。
20		身体活動・運動	(P12～) 【働き盛り世代の運動不足】 ・私自身、身体活動・運動を全くといっていいほどしていない。職場での階段の利用や、日常生活で+10を実施していくのが一番よいと思う。 ・働いている人は運動する時間がないのが現状で、運動が必要だと分かっているけど、運動できない、やらない人も多い。会社で運動する時間を強制的にでも作ってもらえるといいと思う。 ・働き盛り世代の運動不足については、自分のために使える時間がないという働く環境を見れば当たり前のことなので、職場の理解がなければ改善できないと思う。運動機会を市が用意する前に、職場が時間を作ることが先決だ。	3	A・C	取組内容の地域・団体・職場等の取組に、「従業員に対して、階段の利用や体操などの業務の合間に簡単にできる身体活動の実践を勧めます」の一文を追加します。 商工会議所や企業等に情報提供し、職場の理解が得られるよう働きかけをしていきたいと思います。
21		身体活動・運動	(P12～) 【運動の意識づけ】 ・何歩歩いたら何ポイント、というようにポイント制にして何か特典があると嬉しい。万歩計も無料で配布してもらえると嬉しい。	1	C	現在、静岡市には元気静岡マイレージ事業があり、自身で設定した健康づくりの目標に取り組みながらポイントをためます。こちらもポイントをためていただくと特典があり楽しみながら健康づくりに取り組める内容です。 現状では万歩計の貸出や歩数でのポイント制は考えていませんが、今後の計画推進の参考とさせていただきます。
22		身体活動・運動	(P12～) 【身体活動を行うための機会の提供及び意識づけ】 ・働き盛り世代の運動不足について、職種によってはデスクワークによる運動不足ということもあり、結果的にストレスの増加につながる場所があると思う。外に出れば静岡には①温暖な気候②冬期の快晴の空模様③多くの名所旧跡というアドバンテージがあるので、それらを生かして歩いて各所をめぐるといったことにもっと付加価値をつけられれば、運動不足、ストレスの解消、静岡の魅力再発見につながるのではないかと。	1	C	ご意見ありがとうございます。 今後の計画推進の参考とさせていただきます。
23		身体活動・運動	(P12～) 【運動不足への取組】 ・でん伝体操はS型デイスサービス等を中心に高齢者に普及啓発されてきているが、もう少し若い世代向けの静岡版の運動、体操があるといいと思う。ラジオ体操でもよいが、あらゆるところ、機会にまるちゃん音頭やJAのキラキラみかん体操のようなテンポのいいものをPRしていったらどうか。	1	C	しぞ～かでん伝体操は米国立保健研究所・老化医学研究所の【50歳からの健康エクササイズ】を参考に静岡市版介護予防体操として作成されました。手足におもりをつけ週2回程度定期的に行うことで筋力維持の効果がみられることから、高齢者に限らない方への働きかけも行っていきたいと思います。
24	身体活動・運動	(P12～) 【若い世代の運動の推進】 ・60歳で退職となり、運動する時間が持てるようになりジムに通えるようになった。定時退庁等、運動する時間も作った方がよい。	1	A・C	取組内容の地域・団体・職場等の取組に、「プレミアムフライデーや定時退社できる日には運動する時間をもつよう勧めます」の一文を追加します。 市ではプレミアムフライデーや毎週水曜日は定時退庁日となっていますので、運動する時間を作るような情報提供等をしていきたいと思います。	

【対応区分】A:計画に反映する B:計画に登載済 C:今後の取組の参考とする D:その他・感想等

No.	項目		意見の要旨	意見数	対応区分	回答(市の考え方)	
25	分野別評価 (中間評価)と具体的な取組	身体活動・運動	(P12～) 【高齢者の身体活動への支援】	・S型デイサービス、でん伝体操のさらなる普及をお願いしたい。	1	B・C	S型デイサービスについては、社協と連携し、更なる普及に努めます。しぞ～かでん伝体操は、週1回以上定期的に行っているところが100か所を超えました。更なる継続を推進するため新たなプログラム(脳活性化プログラム)のDVDを現在作成していますので、今後はしぞ～かでん伝体操と併せて実施できるよう推進していきたいと思えます。
26		身体活動・運動	(P12～) 【高齢者の運動】	・年齢を重ねるうちに転ぶことが増えてきた。手すりをつけたり段差をなくすようにスロープにしたが、一人で外に出かけることは難しいので、家でできる運動についてや転ばないようにするための方法など具体的に分かりやすいパンフレットのようなものを高齢者がいる家に配布してもらいたい。市民の取組みの中に高齢者のことも入れたらどうか。	1	A・C	取組内容の市民の取組に、「筋力が低下しないように体操をしたり、外に出かけるよう心がけます」の一文を追加します。また、転びにくい身体作りのためには筋力が低下しないような運動や環境整備が大切なので、しぞ～かでん伝体操などの体操を継続して実施することや、外出の機会を増やすことなど、日頃の生活に取り入れるための方法について関係課と協議し、今後の計画推進の参考とさせていただきます。
27		身体活動・運動	(P12～)	・健康まつりでの骨密度や体組成の測定は、毎年参加しており、こういった健康測定器具で測定してもらおうとありがたい。	1	B	静岡庁舎では9月の健康増進普及月間にあわせて毎年健康チェックができる日を計画しています。各保健福祉センターの健康まつりや地区まつり等でも各種健康チェックができます。今後も分かりやすいPRに心掛け、市民の皆様の健康づくりの動機付けに利用していただけるように努めていきます。
28		身体活動・運動	(P12～) 【市民が取組みやすいPRの仕方】	・市で実施する運動イベント等、月間や年間など分かりやすいちらしやPRがされているととても良いと思う。	1	C	広報紙にイベント等について、その都度掲載をしていますが、市として月間や年間の一覧ができるかどうか検討していきたいと思えます。
29		タバコ	(P14～) 【喫煙防止教室】	・評価指標達成状況で、未成年者の喫煙に係る高校生男子の達成状況が悪化しており、今後の方向性①の中で、「高校での実施拡大としてモデル的に実施する」との文言があるので、P15の行政の取組みの「小・中学生向け喫煙防止教室」を「小・中・高校生向け喫煙防止教室」という表現にしたら良いのではと思う。 ・数年前に子どもが学校で喫煙防止教室を受け、「お父さんもタバコをやめて」と言われ、禁煙に成功した。子どもからの一言はとても効果があるので是非続けてほしい。 ・喫煙習慣が身に付かないよう、小・中学校への喫煙防止教室により力を入れてほしい。 ・未成年者の喫煙をなくすように、学校とも連携し、更なる徹底をお願いしたい。	4	B・C	喫煙防止教室については、平成30年度に高校においてモデル的实施を考えていますので、その後の実施状況で名称変更については検討していきたいと考えています。 喫煙防止教室は実施校から概ね好評との評価を得ていますので、今後さらに利用校が増えるようPRをしていきたいと考えていますが、未成年者の喫煙防止対策としては、喫煙防止教室以外でも、小・中学校では、保健体育や薬学講座等において、たばこが健康に及ぼす影響や喫煙防止に関すること等についての指導を行っており、今後も継続して実施していきます。
30	タバコ	(P14～) 【建物内禁煙、受動喫煙対策】	・県庁、本庁舎内を2018年4月～全面禁煙にすることなので、静岡市も建物内は全面禁煙になるといい。 ・受動喫煙が原因で亡くなったり、喫煙が起因する医療費の増大などのニュースを見かける。静岡市の公共施設では喫煙所が設けられているが、静岡県では庁舎内全面禁煙への取組を行うとのことなので、静岡市でも同様な取組を行ってほしい。 ・若い人は職場でもよくタバコを吸いに行く(喫煙所へ)のを見かける。思い切って市内の建物内は禁煙にしていったらどうか。2020年のオリンピックに向け、日本は世界と水準をあわせるべきではないか。 ・職場の受動喫煙が嫌です。法律で整備してほしい。	4	B・C	国の方針に合わせ、望まない受動喫煙防止のために、静岡市としても、今後は医療施設、小中高、大学等や行政機関は「敷地内禁煙」の方向性で進めていきます。 今後も国の動向に注視しつつ、関係団体や県と連携を図ってまいります。	

【対応区分】A:計画に反映する B:計画に登載済 C:今後の取組の参考とする D:その他・感想等

No.	項目		意見の要旨	意見数	対応区分	回答(市の考え方)	
31	分野別評価(中間評価)と具体的な取組	タバコ	(P14～) 【受動喫煙防止対策】	・コンビニのところに灰皿があるので、タバコを吸っている人が大勢いて、そこを通るのがとても嫌です。小学校の時にタバコの害の話を聞いたので、副流煙はよくないものと知っていますが、灰皿を置く場所を遠くにして、コンビニに出入りする人が煙を吸わないようにできないのでしょうか。公共施設だけではなく、考えてもらいたい。	1	C	市内の店舗等を含め、情報提供していけるかどうか検討していきたいと思います。
32		タバコ	(P14～) 【喫煙・受動喫煙による健康被害の周知】	・喫煙、受動喫煙による健康被害について積極的に周知してほしい。	1	B	喫煙・受動喫煙による健康被害の周知について引き続き積極的に実施していきます。
33		タバコ	(P14～) 【路上喫煙禁止】	・静岡市では街中で路上喫煙を禁止したりしているが、新たに駅に喫煙スペースを作ったり、ちぐはぐしている。オリンピックもあるので、計画にはっきりと路上喫煙禁止と載せてみたらどうか。	1	B・C	路上喫煙禁止地区は、平日でも人の往来が多く、また多くの市民等が集まるような場所で、喫煙によって第三者への被害のおそれが考えられる地区を指定しています。 また、喫煙所は、たばこを吸わない人と吸う人が、お互いの権利を尊重し、認め合う社会の形成を目指すことで、路上喫煙による被害を防ぎ、双方にとって快適な公共空間を確保するために設置しています。 喫煙所の設置にあたっては、 ①市民が路上喫煙の被害を受けない場所であること ②喫煙者が利用しやすい(喫煙者を集約しやすい)こと ③通行の障害となりにくいこと を考慮し場所を選定しています。 喫煙所を路上喫煙禁止地区内に設置することにより、同地区内での路上喫煙による被害等の防止に効果があると考えています。
34		タバコ	(P14～) 【妊娠前からの啓発支援】	・妊娠前から喫煙・受動喫煙による健康被害の周知、禁煙の支援は喫煙者自身やその家族、身近な人の健康だけでなく、将来生まれてくる赤ちゃんの健やかな成長のためにもとても大切なことだと思う。一方で、これらの周知、禁煙支援をすることは難しいことだと思う。妊娠前からこれらについて啓発をしていく方法として検討していることがあれば教えてほしい。	1	B	(No.29回答参考) 現在、小・中学生向け喫煙防止教室や薬学講座、保健体育の授業等において喫煙・受動喫煙による健康被害の周知を実施しています。小学校だけでなく、中学校時点でも繰り返し受講することで生涯無煙の健康づくりを狙いとしています。平成30年度はこの教室を高校への拡大をモデル的に実施予定です。
35		酒・薬物	(P16～) 【薬物対策】	・薬物乱用が社会で問題になっている。子ども達にも薬学講座を実施しているが、薬物のページが更に充実していくとよいと思う。	1	C	ご意見ありがとうございます。 今後の参考とさせていただきます。
36		酒・薬物	(P16～) 【女性のアルコール対策】	・20～64歳の女性の飲酒が増えているのが分かりましたが、子育て等、大事な世代であるので、減少するような事業の実施をお願いしたい。	1	C	適正な飲酒量についての情報提供ができるよう検討していきたいと思います。
37		こころの健康・休養	(P18～) 【高齢者の孤立化防止】	・ご近所の付き合い等で高齢者世帯、独居で閉じこもりがちな高齢者には見守りや声かけなど地域で行っているので、地域の活動等も紹介してもらってもいいかも。	1	A	取組内容の地域・団体・職場等の取組に、「地域で高齢者世帯や独居で閉じこもりがちな高齢者には見守りや声掛けをします」の一文を追加します。

【対応区分】A:計画に反映する B:計画に登載済 C:今後の取組の参考とする D:その他・感想等

No.	項目	意見の要旨	意見数	対応区分	回答(市の考え方)
38	こころの健康・休養 (P18～) 【ストレス対策】	・ストレスは様々な場面で大きな影響があると思う。日常生活の中でストレスは多く存在している。その解消法として「タバコでストレス解消できる」と考え、妊婦や子どもを持つ親が育児のストレス等をタバコで解消する人もいると思うが、逆に周囲の人や自分の体に害を与えているということに気づいていない場合がある。食生活の改善や適度な飲酒、スポーツなど、体に優しいストレス解消法(適切なストレス解消法)を今後より多くの人に知ってもらえるとよいと思う。 ・適切なストレス対処法の周知、対応をお願いしたい。	2	B・C	こころの健康センターでは市民の皆様が、職場や医療、介護の場でメンタルヘルス支援が適切に受けられるような人材育成支援のための研修を行っています。また、市民の皆様に向けた講演会も開催しています。多くの方に参加していただくため、さらなる周知を検討します。
39	こころの健康・休養 (P18～) 【ストレス対策】	・ストレス対策については、働き方改革の実践が必要だと思うので、経済部門の課題だと考える。経済界が動かなければ改善はできない。	1	C	働き方改革の実現に向けては、官民一体となって取り組む必要があると考えています。市内経済団体と連携し、働き方改革の実現に向けた取組を行っていきます。
40	こころの健康・休養 (P18～) 【ストレス対策】	・雇用が不安でなかなか景気がよくなるせないせいか、ストレスが多い人がたくさんいる。市では観光や文化施設にお金をかけるのではなく、健康や子育てなど人にお金を使ってほしい。	1	C	ご意見ありがとうございます。 今後の計画推進の参考とさせていただきます。
41	こころの健康・休養 (P18～) 【身近な相談場所のPR】	・精神的に心配とを感じる人がいる時、精神科受診は勧めにくい。市でどこに相談したらよいのか、身近な相談窓口がどこなのか、もっと分かりやすくPRしてほしい。 ・職場でメンタルで休職中の人がある。メンタルの相談を受けた時、メンタル病院等、受診先を教えてください。	2	B・C	市では精神保健福祉課、こころの健康センター、各保健福祉センター、各区の障害者支援課や相談支援事業所等で相談に応じています。身近な相談窓口をもっと市民の皆様に分かりやすくPRしていただけるよう検討していきます。
42	こころの健康・休養 (P18～) 【元気高齢者の能力の活用】	・近頃の高齢者は、昔と異なり元気な方が多いので、うまく活用して、地域の力となるように行政からの働きかけを希望する。	1	B	元気な高齢者の方々には、就労、ボランティア活動、生涯学習等の社会活動を行う機会を提供する環境を整備し、生涯にわたる自己実現、生きがいづくりを応援します。そのために、社会参加のきっかけとなる様々な事業等の情報の発信や活動の支援に努めています。
43	性・妊娠・子育て (P20～) 【子育て情報】	・子育て中で義母に育児を頼っている。父親として育児参加を積極的にしているが、他の人達はどのようにしているのかと聞いてみたい。 ・子育て中で、育児に関しては「これでいいのかな～」と育児の相談は実母が相談相手である。仕事で忙しいので、子育て情報を教えてください。	2	B	市では、保健福祉センターや子育て世代包括支援センター等で妊娠期から相談に応じています。また、出産後は、こんにちは赤ちゃん事業や0歳児の育児相談等も実施し、地域での孤立化を防ぐために、子育てトークの会、あそび・子育ておしゃべりサロン、子育て支援センター事業等を実施し、親子の交流や子育てに関する相談、情報提供、親子の交流の場の活用を促進しています。 身近な相談窓口をもっと市民の皆様に分かりやすくPRしていただけるよう検討していきます。
44	性・妊娠・子育て (P20～) 【安心して子育てができるための支援】	核家族などの環境から子育てが難しい状況の親の早期発見、地域の支援が大事なので、行政の力で多くの支援を希望する。	1	A・B	取組内容の市民の取組に、「妊娠中からマタニティ教室等に参加したり、相談しやすい人や場所の把握に努めます」の一文を追加します。 (No.43の回答参考) 引き続き、保健福祉センターでの母子手帳交付や各種乳幼児健康診査・育児相談、訪問事業等にて育児に対する悩みや不安のある方の早期発見に努めるとともに、地域とのつながりをもって育児ができるよう関係機関との連携に努めていきます。

【対応区分】A:計画に反映する B:計画に登載済 C:今後の取組の参考とする D:その他・感想等

No.	項目		意見の要旨	意見数	対応区分	回答(市の考え方)
45	分野別評価 (中間評価) と具体的な取組	性・妊娠・子育て	(P20～) 【安心して子育てができるための支援】 ・子育てに自信が持てない親が増加しているようなので、安心して子育てができるよう、母子共に健康的に生活できる施策を行い、人口増加につなげてほしい。	1	B	(No.43の回答参考) 保健福祉センターでは子どもを取り巻く家族の健康に対しても指導・助言をしています。今後も子どもと親が安心して育児できる環境整備をすすめていきたいと思っています。
46		性・妊娠・子育て	(P20～) 【安心して子育てができるための支援】 ・地域の高齢者の活用をしたらどうか。	1	B・C	市ではシニアボランティア登録事業を推進しており、高齢者が地域の子育て事業等のボランティアとして活躍してくれています。今後も地域の高齢者の力を活用していけるよう働きかけていき、世代間交流の推進を広めていきたいと思っています。
47		性・妊娠・子育て	(P20～) 【安心して子育てができるための支援】 ・今後の方向性③の「メディア等にとらわれすぎないように」という表現だとメディアを否定しているような感じを受ける。メディアを活用することは考えていないのか。	1	A・C	今後の方向性③の文面の上2行を「子育てに自信が持てないと言う1～3歳児を持つ親が増えていることから、氾濫する情報社会の中で、様々な情報に惑わされず、自分に合った正しい情報を相談しながら選択ができるような支援の体制づくりと、メディアを活用して相談場所の周知や子育てに関する正しい情報を発信していきます」に修正します。 メディアの具体的な活用方法については検討していきます。
48	その他	その他	【目標値】 各項目の目標値が、きちんと数字で表されているのがよいと思った。悪い部分がよくわかるようになっている。	1	D	ご意見ありがとうございます。
49		その他	【計画・取組の推進】 ・ひ孫の健康のために、この計画を全世代、全市民に拡げていってほしい。 ・もっとこの計画を市民に伝えてほしい。 ・あとはどう市民に伝えていくかだと思う。 ・民間だけでなく、行政もたくさん取組を行っていると思うのもっと推進してほしい。	4	C	ご意見ありがとうございます。 平成30年度、市民の皆様向けに計画の説明会等の開催を検討しています。より多くの市民の皆様が計画を知っていただき、皆様とともに健康づくりに取り組んでいけるよう推進していきたいと思っています。
50		その他	【健康寿命の延伸】 ・健康寿命の延伸は大変だと思うのががんばってください。	1	B	平成34年度、健康寿命を75歳目標に、市民の皆様と一緒に健康づくりを推進していきたいと思っています。
51		その他	【分析】 ・5年前との比較もあり、よい分析がされていると思う。5年後の最終評価が楽しみである。	1	D	ご意見ありがとうございます。
52		その他	【市民の取組】 ・市民の取組が分かりやすい。市民が何をすればよいか、よく分かった。	1	D	ご意見ありがとうございます。